

検討テーマ：「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	課題	方策
訓練の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災マニュアルはあるが、絵に描いたもちの状態。組長、啓蒙班が動いていない。</li> <li>○一通りやりマンネリ化している。消火栓の位置を知らない住民が意外と多い、要確認。</li> <li>○学区全体での防災訓練と運動会の同日開催を検討。避難経路確認、昼に炊き出し訓練、防災訓練に関わる競技（バケツリレーなど）を取り入れてはどうか。</li> <li>○夜間訓練も必要と感じる。</li> <li>○小学校での幼稚園合同引渡し訓練を実施する必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○皆さんが楽しく参加、かつコミュニケーションがとれ、防災訓練でもある運動会が出来ないかと考えている。</li> <li>●地区の運動会を中断しているのは山田小学校区のみ。運動会は健康づくり、きずなづくりと色々な面もある。</li> </ul>
訓練への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2年前は地区防災への中学生の参加率は0%だったが、昨年度は50%になった。</li> <li>○昨年から子どもの参加者が増えた。小中学校の協力があり、学校からの呼びかけの影響が大きい。今年もお願いしたい。</li> <li>○訓練参加率が非常に悪く、高齢世帯も参加出来るようにするのが今後の課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市が地区の訓練日時をまとめて配布。子どもたちに参加を促しやすくなった。学校へ地区行事の情報を教えて欲しい。</li> <li>○中学生は9・10月は部活の新人戦がある。可能であれば訓練時間を試合時間と調整する（午後からなど）工夫をして欲しい。参加率が上がると思う。</li> <li>○チラシを作成し全戸配布、啓蒙活動。</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者が多く、どのように避難すればよいのか、分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要援護者は、自治会と民生委員が協力。</li> <li>○「要援護者サポート隊」を結成した。皆に参加してほしい。</li> </ul>
地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区の協議会の中で、各町内会自治会のトップが話し合える環境を作ることが必要。その為にもまず協議会の再建は重要。</li> <li>○体育振興会は今までは各町内から2名出ていたが、協議会とともに振興会も解散した。現在は2人だけで行っている状況。</li> <li>○民間活動のボランティアは専門性があり色々な情報を持っているので、自治会と民間の活動団体との連携調整ができないか。</li> <li>○二次避難所は全部が山田小ではなく、山田中、錦田中に分かれているので、地域の皆さんと連携を深めることが大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者なりの種目を考えてくれば、高齢者も運動会に参加できる。まず町内会長のやる気を促したい。</li> <li>○半日でも運動会を実施したい。生涯運動、スポーツという形で行うなど工夫をし、実行委員会で種目を決める。</li> <li>○自治会は専門知識を持った民間団体（NPOなど）に、上手にサポートしてもらう関係にしていくとよいのではないか。</li> </ul>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	当面の取組み	取組みの担い手／アイデア
訓練内容	<p>○防災訓練と運動会を同日開催</p> <p>■伊豆大島の土砂災害があったが、山田も危険地区がほとんど。避難経路がどうなるかわからず一番心配している。公民館が一時避難所だが危険区域になっている。これから皆で話し合いたい。</p> <p>■市役所に相談しながら防災マニュアルの改善（わかりやすくする）を進めている。</p> <p>■訓練時、避難した印として黄色いハンカチを掲げる取組みを実施予定。空き巣に入られることを危惧する意見もある。</p> <p>■要援護者に笛を吹いてもらう取組みを実施。役員が自宅に伺い実際に吹いてもらい不安の軽減をはかった。</p> <p>■住所録（各家庭の人数、名前と年齢と性別は任意）を町内で管理する。</p> <p>■園児を保護者に渡すまでの具体的方策や、園児の訓練参加、小学校や地域との連携について、一緒に検討したい。</p> <p>■防災訓練と運動会の同日開催は白紙の状態。これから話し合いをして訓練と運動会を融合させていきたい。スポーツフェスティバルの中で小・中学生参加の防災競技や、防災知識を得る講演（賞品つき）などを検討したい。</p>	<p>●農家のトラクター・備蓄食糧などが災害救助に役立つ。他地区の救助も念頭においてほしい。災害時の連絡体制（避難準備、避難勧告、避難指示と段階的）を確認してほしい。</p> <p>■幼稚園ではマニュアルは、カード形式・一覧表にするなど誰が役割を担うかすぐわかるものを作成。</p> <p>●黄色いハンカチは無事という印。安否確認が容易になる。安否確認後、警備要員による町内の見回りも実施してほしい</p> <p>■防災訓練では要援護者用の背負いかご、2階から救出、車椅子の利用等を実施予定。</p> <p>●各町内で要援護者サポート隊結成を検討してほしい。</p> <p>■子ども達も災害弱者。幼稚園など子ども達を預かっている立場では安全な避難は大きな課題。園児は要援護者の中に入れるべきだと思う。</p> <p>●避難経路の危険個所を町内会長に伝えてほしい。市で改善点を検討する。電柱は倒れる可能性が高いと思ってほしい。</p> <p>■参観日などに PTA・保護者も巻き込み部分訓練を実施する。火災旋風、動脈を守る避難方法、一酸化炭素中毒等の防災知識を小・中学生のうちに教え込む。</p> <p>■粉消火器の使用を訓練場所の変更で、実施可能にした。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	当面の取組み	取組みの担い手／アイデア
訓練参加	<p>○学校（PTA）を通じた呼びかけ</p> <p>■山田小に協力を仰ぎ 10 名（危機管理課 2 名、町内 6 名、校長、教頭）で 4 回協議会を実施しスケジュール等決定。今回の経験を活かし次回は中学生の参加も考えたい。</p> <p>■今年度の中学生参加率は 70%が目標。中学生の不参加の大きな理由は部活動（大会）。6 町内合同防災訓練は本当にうれしい。生徒が参加しやすくなる。</p>	<p>■参加の工夫は、各町内の訓練日を事前通知してもらい担任から生徒に呼び掛ける。訓練時に各生徒が会長サインをいただきコメント記入し学校に提出。</p> <p>■訓練参加率をあげる工夫は、例えば小中高共通の簡単なカードを用意し、訓練参加でポイントがたまると市長から図書券が進呈されることなどが、子ども達には有効だと思う。</p>
高齢者の支援	<p>○高齢者居所マップを作成する。</p> <p>■町内に回覧・ポスト投函を実施。身体障害者はサポート方法を考える。できるだけ皆が参加できる方向でやりたい。</p> <p>■援護される側も情報を自治会に伝える必要がある。</p> <p>■会長・区長・自主防災会は町内担当。別に災害時要援護者サポート隊が区長経験者で結成されている（現在 11 名）。</p> <p>■旭ヶ丘では集会場を新築。高齢者活動（社交ダンスクラブ・お茶会等）を検討中。</p>	<p>○民生委員、自治会、要援護者サポート隊で協力</p> <p>●身体障害者をリヤカーで運ぶなど、色々な方法がある。リヤカーを持っている町内は多い。補助金を活用してほしい</p>
地域の連携	<p>○校区の協議会の再建を目指す。</p> <p>■今年をはじめ運動会を実施。</p> <p>■今年スポーツフェスティバル・合同防災訓練と、地域の連携が強まっている。学校としてもやれる限り協力していきたい。</p> <p>■スポーツフェスティバルに参加することで新たな交流が始まる。学区だけではなく、学区外の町内も巻き込むことが参加者増加につながる。</p> <p>■フェスティバルに楽しく参加した。役員の熱意を感じたが、町内で温度差がある。町内会・自治会・民生委員などの普段からの連携が重要。</p> <p>■合同訓練実施後、連携を深める方策を考えたい。合同訓練に 6 町内以外の方もぜひ参加してほしい。</p>	<p>■幼稚園の協力できることとして、防災訓練のポスターを掲示し、保護者へ参加呼び掛けが可能。</p> <p>●町内のきずなを深める要因はお祭り、防災訓練、運動会。熱心に行っているところからノウハウを学んでいくといい。</p>